

過去のニュース(2007年4月～6月)



6月27日(水) 「魁皇関 がんばって」

大相撲名古屋場所を前に、大関魁皇関ら友綱部屋の力士が老人保健施設「さざんかの丘」を訪れ、施設利用者や瀬木保育園児と交流しました。約200人が参加。交流会では、園児から歌や踊りなどが披露された後、最後に魁皇関を囲んで記念撮影が行われました。園児らは力士を間近にみて、その大きさにびっくりしていました。



6月27日(水) 「大野・鬼崎両漁協が合併へ」

漁業を取り巻く厳しい環境の中、組合の経営維持とさらなる発展に向け、大野と鬼崎の両漁業協同組合による合併仮契約書調印式が行われました。今後は、両組合の総会において承認を得た上、来年3月1日に正式合併し、鬼崎漁業協同組合となります。



6月17日(日) 「人気のかじま台 成功を祝い式典」

梶間土地区画整理組合は、事業の成功を記念した竣功式をCCNC新社屋ビルで行いました。特別イベントとして日本舞踊「西川流」の舞(西川まさ子師範によるワークショップ)も行われ、普段見られない舞台裏の様子などが披露されました。「かじま台」は、通りに現代彫刻や風車を設置するなど独自の魅力ある街づくりを進め、若者を中心に人気の街となっています。



6月16日(土) 「一流の技術を 小中学生に手ほどき」

バスケットボール女子日本リーグの「JALラビッツ」による技術講習会が、市体育館で開催され、市内小中学生約130人が参加しました。日本航空初の女性管理職で、同チームの顧問を務めた故滝田あゆちさんの出身地という縁もあり、初めて常滑で開催されました。同チームから全日本メンバー2名も参加し、子どもたちはトップクラスの技に驚きの声を上げていました。



6月13日(水)
「セントレアで 記念展示会」

常滑陶芸作家協会の創立 45 周年を記念する展示会が、セントレアギャラリーで開催されました(6月8日～21日)。会場には、人間国宝故三代山田常山さんの作品や常滑焼を代表する作家たちの作品が展示され、訪れた人の目を楽しませていました。



6月11日(月)
「夕涼みは 人工海浜で」

暑さが日増しに強まっていますが、りんくう町の人工海浜では、夕涼みに来る人々が多く見受けられます。夕日や飛行機の離発着、通り行く船舶などを眺めながら、夕方の一と時を過ごしてみたいはいかがでしょうか。



6月7日(木)
「来年の干支は 子(ねずみ)」

卸業者向けの干支内覧会が、6月7日、8日の両日、陶磁器会館で行われ、市内メーカー11社などから、約150点が並びました。常滑陶磁器卸商業組合が主催。ここ数年は、小ぶりで明るい色の干支が人気とのこと。



6月5日(火)
「新たな大型賃貸物流施設が完成」

米物流不動産開発会社プロロジスが、中部臨空都市(空港島内)に建設してきた大型賃貸物流施設「プロロジスパーク」が完成し、この日、竣工式典が行われました。施設は鉄筋5階建ての免震構造で、延べ床面積約8万3千m²。施設には、新型の風力発電が4期設置されたほか、雨水を散水用に利用するなど環境に配慮。また、アプローチには常滑焼の焼酎瓶を飾るなど地場産品が随所に取り入れられています。



5月26日(土)
「徳川家康公を祭る柴船権現まつり」

本能寺の変で家康公が三河への退路として、三重から伊勢湾を船で渡り常滑へ上陸した説に基づき、市場区では毎年5月に「柴船権現まつり(柴船権現神社大祭)」が行われます。この日も、勇み隊列が区内を練り歩き、勇み囃子を奉納したほか、とこなめ中央商店街の銀座通りでは多くの夜店が出て歩行者天国になり、大勢の区民らでにぎわいました。



5月26日(土)
「商店街で にぎわいコンサート」

市場地区のお祭り(柴船権現まつり)が行われたこの日、近くのとこなめ中央商店街のからくり時計広場で、にぎわいコンサートが行われ、美しいギターの音色に観客は聞き入っていました。にぎわいコンサートは、原則、毎月第3日曜日の、11時から正午と13時から14時に、からくり時計広場で実施されています。



5月26日(土)
「子育て中の親子やボランティアで大盛況」

子育て支援フェスタが、福祉会館で行われ、未就園児、パパ、ママ、じいちゃん、ばあちゃん、子育て支援ボランティアなど多くの人が集まり、熱気に包まれました。内容は、各種バザー、フリーマーケット、おもしろシアター、工作、消防車・パトカー試乗など盛りだくさん。中でも、園児に人気の“ぱちぱちまん体操”や“えびかにつくす”の曲が流れると、踊りの輪が屋外ステージ周辺に広がり大盛り上がりでした。



5月24日(木)
「北海道から“幸福”が届く」

常滑北保育園と瀬木保育園に、北海道美瑛町から空輸されてきたスズランが届きました。届けたのは、JALスカイ名古屋の女性職員ら。この事業は、日本航空と美瑛町観光協会の共催で1982年から実施されているもの。「幸福の訪れ」という花言葉を持つスズランをプレゼントされた園児らは、お返しに歌や踊りを披露したほか、美瑛町あてに園児が書いた絵を託しました。



5月23日(水) 「園児が親子で木工教室」

青海保育園で親子木工教室が行われ、園児とその保護者約60人が、家やパズルを作りました。講師は、市内在住の森田豊さん。森田さんは、市内外の幼・保育園や子育て総合支援センターなどに、積み木や鳴子、机、本棚などを無償で提供し、講師などを務めています。



5月22日(火) 「名誉市民の逝去に多くの市民が記帳」

常滑市の名誉市民であり、元東京電力株式会社顧問、元日本経済団体連合会名誉会長(元経団連会長)であった平岩外四氏が、22日、逝去されました。享年92歳。市では、市役所1階のロビーに記帳台を設け、多くの市民により記帳が行われました。



5月20日(日) 「ケーブルテレビ大見学会“常滑市の日”」

4月にグランドオープンした知多半島ケーブルネットワーク(CCNC)の新社屋で、市民などを対象に、5月19・20の両日、“常滑市の日”として大見学会が開催され、多くの見学会客らでにぎわいました。オープニングでは、よさこい鳴子踊りが披露されたほか、新スタジオでは、ちびっこ達が将来の夢を市長とともに語る「ちびっこ夢舞台」の公開収録が行われました。



5月16日(水) 「子育て支援 北部・南部への出張を開始」

市内北部の青海公民館で「おでかけ ところはあと」が始まりました。「ところはあとルーム」は、おもちゃ遊びや、絵本の読み聞かせ、親子遊びなどを通じて、子育て中の子どもや親同士が交流を深める場として、昨年4月、市福社会館にオープン。今回、市内北部や南部にお住まいの人にも気軽に参加してもらおうと新たに設置。保育士や子育てボランティアにより運営。6月以降は、毎月第1・第3水曜日に青海公民館で、第2・第4水曜日に南陵公民館で実施されます。



5月15日(火)
「フィールドで 白熱した戦い」

小学校陸上競技大会が、常滑競技場で開催され、市内9小学校の5・6年生約270人が参加しました。



5月9日(水)
「鐘の音の響く街『北汐見坂』」

伊勢湾の海と飛行機を一望できる場所に造成・分譲が進められている北汐見坂(金山土地区画整理事業)では、カリオンと呼ばれる鐘が設置され、午後3時になると鐘の音を響かせています。かじま台や北汐見坂では、他地域にはない独自の魅力ある街づくりが進められており、若い子連れ世帯に人気の住宅地となっています。



5月8日(火)
「今年の米は 大豊作？」

熱田神宮に飾られた農人形をそのまま再現し、今年の農作物の出来具合を占う「花の撓(とう)」が矢田地区の八幡神社で行われました。飾られた農人形の様子から吉凶が占われるが、米の出来を占う東の小屋の飾り付けを見ていた参拝者は、「近年にないほど、豊作の年になりそうだ」と占っていました。



5月7日(月)
「熊野海岸ハマヒルガオ」



5月7日(月)
「地域の海を大切に」

西浦南小学校の児童と保護者ら約200人が、古場海岸の清掃を行いました。これは「学校大好き、この町大好き」を目指す、同小学校の総合環境教室として実施したものの。



4月28日(土)・29日(祝)
「5年ぶりに『きたまつり』を開催」

大野・西之口地区で、「きたまつり」が行われ、両地区の山車5台と巻きわら船が大野橋に集まりました。両地区は、例年、別々で開催されるが、5年に1度は、合同で開催されるもの。



4月27日(金)～5月10日(木)
「潮風受けて 元気に泳ぐ」

小脇公園に約200匹のこいのぼりが掲揚され、遊びに来た親子らは、元気に泳ぐこいを眺めていました。こいのぼりは、市民などから寄せられたもの。



4月14日(土)・15日(日)
「6台の山車が勢ぞろい」

常滑地区祭礼が行われ、北条、瀬木、奥条、山方、市場、保示区の山車6台が勢ぞろいしました。

4月5日(木)

「私を見に来てね 常滑系巨大招き猫より」



幅 6.3m、高さ 3.8m の巨大招き猫が 3 月下旬に登場。場所は、名鉄常滑駅から陶磁器会館に向かう道路（北条向山線）沿いのよう壁の上。39 体の御利益陶製招き猫とともに、私も見に来てね。私の周りには、本物そっくりの陶製猫ちゃん達もいるよ。「常滑系招き猫」は、2 頭身で目がパッチリしているのが特徴だよ。